



南極の気候危機

問題

- 極域は地球の他の場所よりも急速に温暖化しています。20世紀後半、南極では地球の平均の2倍以上の速さで温暖化が進んだ場所もありました。
- 1970年代以降、世界の海洋は気候変動による過剰な熱の93%以上を吸収してきました。南極海は人間活動に起因する過剰な熱の75%、二酸化炭素の40%を吸収してきました。
- 1980年代に南極の氷は年平均400億トンも失われました。2020年までに、氷が失われる速さは6倍以上になり、年間2,520億トンにのぼります。
- 南極半島は南半球で最も急速に温暖化している場所の一つで、平均気温が1970年から2020の間に3°C以上も上昇しています。
- 南極で起きていることは、南極以外の場所にも影響を及ぼします。南極海の海水は、地球の健康を保つために不可欠です。必須栄養素を赤道の北へ運ぶ海流を作り出し、他の海域と同様に地球の気候を調節しています。
- 現在までに、十分に保護されている南極海の海域はわずか5%です。

海洋保護区 (MARINE PROTECTED AREA : MPAs) という解決策

海洋保護区は、漁業や汚染といった他の環境ストレスを低減することで、気候変動の影響に対して生態系や種が回復する力を高めます。

高度に保護された海洋保護区 (MPAs) は、1つの生態系の中のすべての生息地と生物種を保護することで生物多様性を改善し、さらには気候変動やその他の環境ストレスに対する回復力を高めます。

海洋保護区は、温暖化や海洋酸性化が生態系に及ぼす影響を、漁業やその他の人間活動の影響から切り離して研究できる観測地や自然の実験室として機能し、科学者が気候変動の影響を追跡、特定することにも貢献します。




海洋保護区のネットワークは、生物の移動経路を保護するのに有効で、生息域の変化に生物が適応し、分布域を拡張または変更する余地を与えてくれます。


ASOCの活動



南極南大洋連合 (ASOC) は、気候変動に直面する南極の生態系の回復力を高める政策の実現を求めて活動しています。私達は気候変動が南極の環境にもたらす影響について認識を高めるため、世論の喚起や、南極のガバナンスに関する国際会議での報告、各国政府への働きかけを行っています。

 www.asoc.org

 antarcticsouthernoc
 antarcticsouthernoc
 antarcticasouth

 1320 19th Street NW
Fifth Floor
Washington, DC 20036

